

第281回「学術講演会」のご案内

梅雨の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今回は下記の日程にて、2題のテーマで「学術講演会」を開催いたします。

1 題目は、『柔軟なモノの「やわらかさ」多元分析法とヒト皮膚評価』というテーマで、京都工芸繊維大学の 佐久間淳教授にお話しいただきます。特に、最近のIoT(Internet of Things)技術と連携した、感覚の数値データ化に関するご講演をいただきます。

2 題目は、『循環型社会の視点からみた包装の未来 (2030年包装の未来予測シリーズより)』というテーマで、出光ユニテック㈱ 商品開発センター 北島誠之先生にご講演いただきます。

G20大阪サミット最大のテーマの一つとして位置づけられた海洋プラスチックごみ問題についても、グローバル視点からG20の内容も入れて、これからの日本の取組についてお話を伺うことができます。

両テーマとも、化粧品技術者の方には興味深く聴いていただけるものと思います。

皆さまお誘い合わせの上、多数ご来聴いただきますようご案内申し上げます。(学術部会A)

記

1. 日時 : 2019年7月22日(月) 13:30~16:30 (13:00~ 受付開始)
2. 場所 : 学士会館(神田) 3F-320号室 (地下鉄神保町下車;参加申込書略図参照)
東京都千代田区神田錦町3-28 TEL;03-3292-5936
3. 講演
【講演-1】 13:30~14:55

柔軟なモノの「やわらかさ」多元分析法とヒト皮膚評価

京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 佐久間 淳 氏

[講演要旨]

よりデジタル社会が普及するにつれて、様々なモノがコンピューターネットワーク(いわゆるインターネット)に接続されるIoT(internet of things, モノのインターネット)と呼ばれる技術が日々身近となってきています。ここで、ヒトに身近なモノは、その多くがやわらかく柔軟な素材で出来ており、そこで観られる柔軟な変形についての諸問題は従来から様々な方法によって解析が試みられてきていました。しかし、このIoTの普及によっては、新たにデジタル化技術と高い親和性を有する柔軟変形の評価・解析法の確立が強く望まれるようになってきました。

そこで本講演では、柔軟なモノで観られる大きな変形でもデジタル化に有利な物理学的に評価できる方法を示した上で、さらに天然素材、樹脂、食品から皮膚などヒトの身体に至るまで、さまざまなモノの「やわらかさ」を数値データ化してモノ創りに活かす方法と実績を紹介いたします。

[講師略歴]

平成 8 年 京都大学大学院工学研究科 博士後期課程 修了
平成 7 年 山口大学助手 工学部
平成 11 年 山口大学講師 工学部
平成 13 年 山口大学大学院講師 医学系研究科
平成 14 年 東京農工大学助教授 工学部
平成 27 年 京都工芸繊維大学教授 繊維学系
平成 29 年 京都工芸繊維大学 繊維科学センター長

【講演-2】 15:05~16:30

循環型社会の視点からみた包装の未来（2030 年包装の未来予測シリーズより）

出光ユニテック(株) 商品開発センター 第一開発課 課長（包装専士）北島 誠之 氏

[講演要旨]

日本包装専士会では、望ましい未来に向けた容器包装の役割を研究し、2030 年のありたい姿について解析してきました。TOKYO PACK 2018 のトレンドセミナーでの発表以後も、様々な方々と意見を交換しながら研究を続けています。

プラスチックごみの海洋投棄が問題となり、世界中でプラスチック製容器包装などの使用規制も始まりました。日本でもプラスチック資源循環戦略の策定が進められています。本来、プラスチックに限らずどの素材も流出させないことが大事です。使い終えた容器包装を徹底的に利用する資源循環の仕組みを構築することは可能でしょうか。

包装近未来のメガトレンドとなっている情報の先読み・先取りをし、常に未来志向ですすでにある未来を見つけにいく。

このような姿勢が今のわたくしたちに求められるスタンスです。皆さまと共に、容器包装の未来を考えましょう。

[講師略歴]

2003 年 出光ユニテック株式会社に入社。商品開発センターに配属。

食品、化粧品などの包装資材として高透明ポリプロピレンシート開発担当

2007 年 新規フィルム開発担当

2011 年 研究企画

2013 年 新規フィルムの開発

2015 年 ジッパーテープ、フィルム開発全般

2019 年 現職に至る

第281回 学術講演会(開催日:2019年7月22日)参加申込書

日本化粧品技術者会東日本支部 事務局 行
(FAX:03-6431-9126)

| | |
|-----------|------------------------------------|
| 参加者 氏名 | 該当に○ : 正会員、正会員の代理、準会員、シニア会員、相談役・顧問 |
| | 代理参加の方は、正会員の方のお名前もお書きください |
| | 正会員名 |
| 会社名 | |
| 連絡先 | TEL: |
| | FAX: |

◇ 申込方法

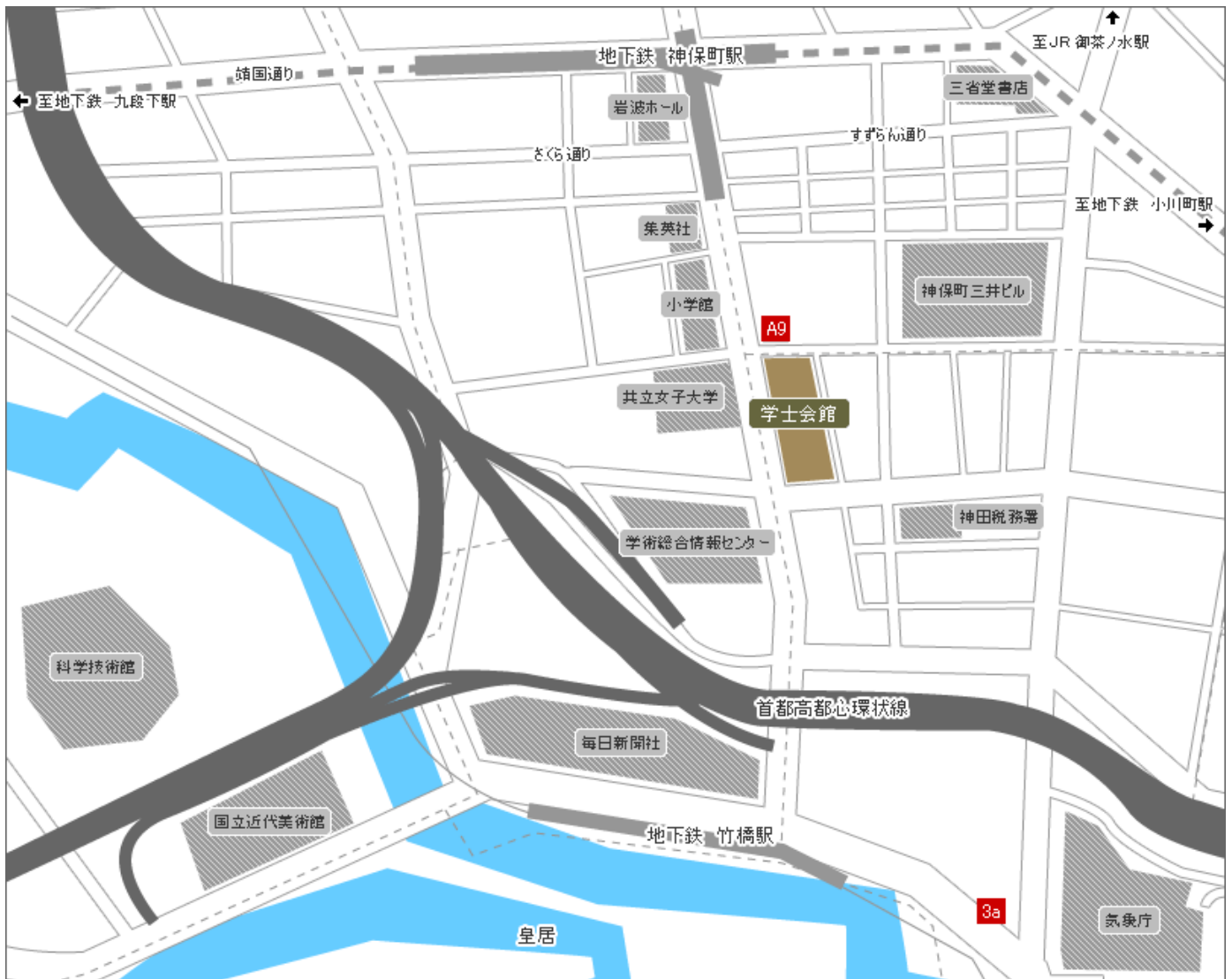
- 本申込書を事務局(03-6431-9126)にFAXして下さい。
(まれに、裏面を FAX される方がいらっしゃいますのでご注意ください)
- 参加費は無料です。
- 参加証は発行しませんので、特に事務局からご連絡(定員でお断りする場合)がない限り、参加可能です。
- なお、正会員の代理者(1名)の参加は可能ですが、準会員、シニア会員の方はご本人のみ参加可能です。

申込締切日:7月17日(水)

会場定員になり次第、締切らせていただきますので、お早めにお申込下さい。

◇ お問い合わせ先 日本化粧品技術者会事務局(東日本支部)(TEL:03-6431-9196)

◇ 会場(学士会館)略図



学士会館

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28

TEL.03-3292-5936 (代表)

【交通機関】

地下鉄都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車 A9 出口
から徒歩 1 分

東京メトロ東西線「竹橋」駅下車 3a 出口から徒歩 5 分

「東京」駅 丸の内北口からタクシーで 10 分